

テーマ：「未来の図書館のデザイン」

○探求の概要

地域情報メディアと一番関わりが深いのは図書館であり、図書館の発展や地域情報メディアの活性化などのために、図書館は時代とともに変化し続ける必要があると思う。そのため、未来の図書館をデザインし、時代に合った図書館を考えてみたいと考える。このテーマで実行していく上で他の未来の図書館との差別化をすることが容易ではないと思うが、できるだけ新しい未来の図書館のデザインができるようにしたい。今回は、身近である長野大学附属図書館のデザインを行ないたいと思う。

○現在の図書館の課題

未来の図書館のデザインを行なうため、まず現在の附属図書館の課題を抽出する。そして、その課題を解決する答えを踏まえつつ、未来の図書館のデザインを行ないたいと考える。そのためには、現在の附属図書館の課題をいくつか抽出してみる。

- ・置いてある本が古い
- ・専門書が多く、小説などが少ない
- ・入館できる人が限られている
- ・地域ならではの情報共有が発揮できていない
- ・勉強する場としての居心地が悪い
- ・図書館で利用できるシステムを学生が把握できていない

○未来の図書館のデザイン

上記の附属図書館の課題を踏まえて、未来の附属図書館のデザインを考えてみる。

- ・図書館の利用ガイドを作成する
- ・地域住民だけでも自由に利用できるようにする
- ・空いているグループ学習室で地域についての学習会を開催する(誰でも参加可)
- ・新刊の本を手にとることができるようにするために、専用のタブレット端末やパソコンを購入し、電子書籍を導入する
- ・勉強する場と読書をする場を分けて、勉強する場は長時間座っても疲れないイスにする
- ・図書館内でも声を出したり食べ物を食べたりすることができる休憩スペースを作る

他の未来の図書館との差別化をすることが難しかったが、以上のようにして、私は未来の図書館のデザインを考えた。